

知覚連動システムと老化プロセス

テーマ：慢性退行性疾患がモビリティに与える影響

日時：2018年6月30日(土)10:00~17:00, 7月1日(日)9:30~16:00

会場：公益財団法人大学セミナーハウス(東京都八王子市)

講師：ドイツ人上級医師, Wolfgang Laube(ヴォルフガング・ラウベ)(専門:スポーツ医療, リハビリテーション, 知覚連動その他に関する著書, 論文執筆多数).

募集人数：50名

参加費：40,000円(2日間の昼食含む)

プログラム：老化プロセス-生理的プロセス-すべての身体機能の維持, 慢性退行性疾患の予防, 地域社会への参加と長期モビリティのための, 健康な身体発達を目的とした運動および身体活動の基礎/健常者, 患者, 高齢者の視点における運

動能力要素とモビリティ: 生物学的年齢; トレーニング, 健康状態, 慢性的不活動-オフィスワーク等, ヒューマンインターフェイスの条件-環境(靴, インソール, 接地面), 創傷, 代謝や関節の慢性退行性疾患(関節症), 老化プロセス/知覚連動システムの身体活動および不活動: 生体の健康状態の管理, 活動と不活動-知覚連動システムの構造, 機能のモジュレータ, 老化の速度/負荷と適応のサイクル: 身体の構造, 機能, 性能の基礎, および治療効果の基礎-予防, 治療, リハビリの観点における積極的治療効果の背景, ほか

申し込み方法：hmsapere-seminar@yahoo.co.jp へてにメールにてお申し込みください.

問い合わせ先：Tel: 090-1865-6917(担当: HM SAPERE ハーゲン愛美)